



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年10月28日

上場会社名 株式会社アートネイチャー 上場取引所 東  
 コード番号 7823 URL <https://www.artnature.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 五十嵐 祥剛  
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員財務経理部長 (氏名) 井上 裕章 (TEL) 03-3379-3334  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	21,288	10.1	2,372	51.9	2,374	59.2	1,463	70.7
2022年3月期第2四半期	19,329	30.7	1,561	—	1,492	—	857	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 1,474百万円(51.1%) 2022年3月期第2四半期 975百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	45.48	44.94
2022年3月期第2四半期	26.71	26.43

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	46,868	25,881	54.7	789.71
2022年3月期	46,510	24,596	52.4	758.47

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 25,617百万円 2022年3月期 24,367百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
2023年3月期	—	14.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,814	5.9	3,126	3.5	3,106	2.2	1,698	41.0	52.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(2022年10月28日)公表いたしました「2023年3月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」に記載しております。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	34,393,200株	2022年3月期	34,393,200株
2023年3月期2Q	1,953,939株	2022年3月期	2,266,339株
2023年3月期2Q	32,182,425株	2022年3月期2Q	32,101,675株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在まで入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### 当期の経営成績

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による活動制限の緩和に伴い、個人消費持ち直しの動きが見られるものの、ウクライナ情勢の長期化に伴う原油、原材料価格の高騰や急激な円安の進行が個人消費に影響を及ぼしており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社では、中期3ヵ年計画「アートネイチャーChallengeプラン」最終年度となり、前年度同様、既存領域を拡充するとともに、新事業の領域を更に拡大し「次代を切り拓くアートネイチャー」の礎を築いていくため、「業績伸長」「新領域の開拓」「採用の強化」「人財の育成」「市場との対話」「業務の刷新」の6つの「重点チャレンジ施策」を実践してまいりました。また、引き続き、新型コロナウイルス感染症の予防対策を徹底し、事業活動を実施してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、21,288百万円(前年同四半期比10.1%増)となりました。また、利益面では売上高の増加により、営業利益は2,372百万円(同51.9%増)、経常利益は2,374百万円(同59.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,463百万円(同70.7%増)となりました。

セグメント別の売上高の状況は次のとおりです。

#### <男性向け売上高>

男性向け売上高については、新商品の販売や顧客定着策の推進等を実施した結果、11,556百万円(前年同四半期比4.3%増)となりました。

#### <女性向け売上高>

女性向け売上高については、新商品の好調な販売や展示試着会数及び販売数の増加により6,749百万円(同18.8%増)となりました。

#### <女性向け既製品売上高>

女性向け既製品売上高については、入居する商業施設の来店客数増加による販売数の増加等により2,084百万円(同15.7%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比357百万円増加し、46,868百万円となりました。これは、現金及び預金、商品及び製品が増加したこと等により流動資産が188百万円増加し、有形固定資産の増加等により固定資産が168百万円増加したことによるものです。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比927百万円減少し、20,986百万円となりました。これは、未払金、前受金が減少したこと等により流動負債が872百万円減少したこと等によるものです。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比1,284百万円増加し、25,881百万円となりました。これは、利益剰余金が増加したこと等によるものです。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況及びそれらの要因は以下のとおりであり、第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前連結会計年度末比94百万円増加し、19,546百万円となりました。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益2,362百万円に加え、減価償却費386百万円、売上債権の減少611百万円があった一方、法人税等の支払805百万円、棚卸資産の増加509百万円、前受金の減少639百万円等により、1,476百万円の資金収入(前年同四半期は550百万円の資金収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出747百万円、長期貸付けによる支出100百万円等により、999百万円の資金支出(前年同四半期は649百万円の資金支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払449百万円等により、459百万円の資金支出(前年同四半期は464百万円の資金支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、本日(2022年10月28日)付で修正いたしました。修正の詳細につきましては、同日公表の「2023年3月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,546	19,649
売掛金	3,066	2,466
有価証券	23	26
商品及び製品	3,050	3,444
仕掛品	182	187
原材料及び貯蔵品	1,195	1,354
その他	964	1,086
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	28,021	28,210
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,779	4,789
その他（純額）	3,915	4,159
有形固定資産合計	8,694	8,949
無形固定資産		
のれん	233	186
その他	441	425
無形固定資産合計	674	612
投資その他の資産		
その他	9,512	9,580
貸倒引当金	△393	△485
投資その他の資産合計	9,119	9,095
固定資産合計	18,488	18,657
資産合計	46,510	46,868

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	320	634
未払金	2,288	1,614
未払法人税等	929	998
前受金	6,502	5,862
賞与引当金	1,053	1,061
役員賞与引当金	145	75
商品保証引当金	36	39
その他	2,961	3,078
流動負債合計	14,237	13,365
固定負債		
退職給付に係る負債	4,170	4,273
資産除去債務	1,547	1,580
その他	1,959	1,768
固定負債合計	7,676	7,621
負債合計	21,914	20,986
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,667	3,667
資本剰余金	3,557	3,607
利益剰余金	18,307	19,321
自己株式	△1,272	△1,096
株主資本合計	24,260	25,499
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62	△19
為替換算調整勘定	14	102
退職給付に係る調整累計額	29	35
その他の包括利益累計額合計	106	117
新株予約権	217	251
非支配株主持分	12	12
純資産合計	24,596	25,881
負債純資産合計	46,510	46,868

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	19,329	21,288
売上原価	6,310	6,792
売上総利益	13,019	14,496
販売費及び一般管理費	11,457	12,123
営業利益	1,561	2,372
営業外収益		
受取利息	23	21
投資事業組合運用益	10	—
為替差益	—	69
助成金収入	9	1
その他	23	17
営業外収益合計	66	109
営業外費用		
為替差損	2	—
貸倒引当金繰入額	116	92
支払保証料	12	10
その他	5	4
営業外費用合計	136	107
経常利益	1,492	2,374
特別損失		
固定資産除却損	—	0
減損損失	4	11
特別損失合計	4	11
税金等調整前四半期純利益	1,487	2,362
法人税、住民税及び事業税	651	874
法人税等調整額	△17	22
法人税等合計	633	897
四半期純利益	853	1,465
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	857	1,463

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	853	1,465
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29	△82
為替換算調整勘定	77	85
退職給付に係る調整額	14	6
その他の包括利益合計	121	9
四半期包括利益	975	1,474
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	979	1,474
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,487	2,362
減価償却費	425	386
減損損失	4	11
のれん償却額	86	46
貸倒引当金の増減額(△は減少)	115	91
賞与引当金の増減額(△は減少)	23	8
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△55	△70
商品保証引当金の増減額(△は減少)	5	3
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△107	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	114	111
受取利息	△23	△21
固定資産除却損	—	0
売上債権の増減額(△は増加)	387	611
棚卸資産の増減額(△は増加)	△285	△509
仕入債務の増減額(△は減少)	△9	307
助成金収入	△9	△1
前受金の増減額(△は減少)	△372	△639
その他	△346	△442
小計	1,438	2,256
利息の受取額	26	23
法人税等の支払額	△924	△805
法人税等の還付額	0	—
助成金の受取額	9	1
営業活動によるキャッシュ・フロー	550	1,476
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△388	△747
無形固定資産の取得による支出	△34	△77
長期貸付けによる支出	△150	△100
長期貸付金の回収による収入	0	0
敷金及び保証金の差入による支出	△81	△79
敷金及び保証金の回収による収入	27	57
その他	△22	△51
投資活動によるキャッシュ・フロー	△649	△999
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△15	△10
配当金の支払額	△449	△449
財務活動によるキャッシュ・フロー	△464	△459
現金及び現金同等物に係る換算差額	40	76
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△523	94
現金及び現金同等物の期首残高	18,984	19,452
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,461	19,546

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を、第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。